

小学校 4年 社会科

1 単 元 「住みよい暮らしを支える」～三好町に愛知用水を引いた久野源蔵～

2 単元の目標

- ・ 地域の開発に尽くした先人の願いや工夫、努力について、観察や聞き取りをして調べ、先人の働きや苦心、現在とのつながりを考える。
- ・ 生活にとって必要な飲料水の確保について、ため池や浄水場などの施設を見学して調べ、人々の健康な生活の維持に役立っていることを知る。

3 評 価

- ・ 地域の発展に尽くした先人の願いや努力について進んで調べることができたか。
- ・ 先人の努力が、現在の私たちの生活に及ぼした影響を理解することができたか。
- ・ インターネットや図書、聞き取り調査などで得た情報や資料を利用して、水の学習についてのパンフレットをつくることができたか。
- ・ ため池や浄水場の働きを知ることができたか。

4 指導計画（23 時間完了）

- ・ 水の使用量調べ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 時間
- ・ 水は、どこから・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4 時間（見学を含む）
- ・ 安全な水をつくる・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4 時間（見学を含む）
- ・ 使った水はどこへ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 時間
- ・ 水の旅をまとめる・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 時間
- ・ 水不足になやんだ人々・・・・・・・・・・・・・・・・ 2 時間（地域の方から聞く時間を含む）
- ・ 三好に水を引いた久野源蔵・・・・・・・・・・・・ 2 時間（調べ学習を含む）
- ・ 愛知用水ができるまで・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 時間
- ・ 牧尾ダム建設・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 時間
- ・ 三好池ができる・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2 時間（見学を含む）
- ・ 愛知用水と三好町の産業・・・・・・・・・・・・ 1 時間
- ・ 水で結ばれた三好町と三岳村・・・・・・・・・・ 1 時間
- ・ 学習のまとめをしよう・・・・・・・・・・・・・・ 2 時間

5 展開例（22 / 23 時）

(1) ねらい

インタビューや資料などを通して一番伝えたいことを、自分なりの方法で相手に分かるようにまとめることができる。

(2) 準備：実物提示装置

(3) 指導過程

	教師の働きかけと 予想される子供の活動	教師の支援
1 本時の 目標を発表 する	<p>1 水について調べたことで一番伝えたいことを発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・国語科で学習した新聞やパンフレットの書き方を参考にすることを知らせることで、相手に分かるようにまとめようという意欲をもてるようにする。
2 調べた ことをもと にまとめる	<p>2 調べたことをもとに、伝えたい人に分かるようにまとめる。</p> <p>・ぼくは、おばあちゃんから聞いた節水のやり方をまとめるよ。 ・わたしは、三好町の水道使用量の移り変わりをまとめるよ。こんなに使われているなんて思わなかった。 ・ぼくは、節水のことをパンフレットにして地域の人に配りたいな。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・インタビューしたことや資料で分かったことと、自分の意見や考えを区別することを比べる。 ・作成の参考になるようにパンフレットや新聞などを用意しておく。 <p>自分で調べたことを、図や資料を使って分かりやすくまとめているか。(作業の様子)</p>
3 中間発 表をする	<p>3 まとめたことの中間発表をしましょう。聞く人は、感想や考えを発表しましょう。</p> <p>・節水をみんなに伝えたいのなら、水道の使用量をグラフにすると効果があると思うよ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今日できたところを確認し合うことにより、本時の成果を感じることができるようになる。 ・発表をもとに、もっと効果的に伝えるためにどうすればよいかを出し合うことで、次時への意欲付けとする。

6 ワークシート例 (14 / 23 時)

久野源蔵さんについて調べよう 4年()組 名前()

1 久野さんの年表を作ろう。

年	できごと



久野源蔵さん

2 久野さんが三好町に水を引こうと思った理由をまとめよう。

3 久野さんについて、家の人や地域の人に聞いてみよう。

7 反省と課題

4年生の水の学習において、三好池が学区内にあり、しかも、愛知池は愛知用水の水源であり、三好町が牧尾ダムの三岳村とも姉妹提携を結んでいることから、毎年、牧尾ダムの見学ができるという好都合が重なり、上記のような実践ができた。子どもたちにとって三好池は身近な存在であったことから、学習にもすんなりと入ることができ、調べようという意欲も十分に感じられた。水不足で悩んでいた地域の方からも直接話を聞くことができたことも大きかった。地域の中に地域のことを詳しく教えていただけるような地域講師を見付けることも、子供たちに有効であると感じた。

エースネットの社会科コンテンツは、小学校4年生の児童にとって、内容が難しく、久野源蔵さんの業績はまとめられたが、これだけでは、学習を深めることができなかつた。しかし、地域住民の方を招いて話を聞いたときに、愛知用水の完成当時の喜びがつかめるとともに、久野源蔵さんの行ったことが、いかに三好町に恵みをもたらしたかをつかむことができた。また、コンテンツ上にある「木曾の水涼し愛知の大平野」という久野源蔵さんの俳句に目を向けた児童もあり、その俳句の意味を調べることで、久野源蔵さんの気持ちを考えることもできた。小学4年生がこのコンテンツを見て完全に理解するのは難しいが、学習の一助になった。